

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の「思い、意思の情報共有の為の記録方法を検討する。	利用者一人一人の行動、言葉を記録することによってその人の思いや希望などが分かる。	その日にあった事や、話した事などを本人の言葉で細かく記録する。また話した内容もきちんと記録しその人の思いを知る。	12ヶ月
2	33	ホームの 看取りに対する方針を明確にする。	利用者の重度化、看取りについて、ご家族の理解を得る。	入居時に、ご家族に重度化、看取りの理解を得ると共に面会時や日常の変化などがあれば連絡する。	12ヶ月
3	35	誤嚥、窒息の応急対応の実技訓練を定期的に実施する。	誤嚥や窒息の初期対応の実地訓練の継続。	救命救急の実地研修への参加する。また初期対応や応急処置の勉強会を行う。	12ヶ月
4	40	利用者に選択肢があり自己決定できる言葉使いや声掛けを継続的に実施する。	利用者が自由に選択できる環境。職員が利用者に選択出来る様に配慮する。	常に利用者が安心して選択肢ができる様に心掛けて声掛けをしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。